

コ 5 ク 9 ロー 6 サン 3 ハート通信

VOL. 67

竹原運輸株式会社

発行日 平成 27 年 9 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつもお世話になりありがとうございます。日頃は格別なるご厚意を賜り、心より御礼を申し上げます。

リーダーの役割とは何か？

そのことを最近常に考えています。私なりに今思っていることは、**社員みんなが共感できる目的を掲げ、そのことだけは何が何でも守っていくこと、**だと考えています。

それを、視座、ここでは敢えて、**志座、**と書くことを教えてもらいました。

視野、視点などは社員それぞれ多様性があっにかまわない。ただ志座だけは社員全員が、共感し、目的を揃えておかないと、単なる群れ、になってしまう。

安全第一を考える会社になる

このことは、基本中の基本として、今日も業務に励んで参ります。

竹原和行

「花よりも花を咲かせる土になれ」

元プロ野球選手 松井秀喜氏を育てた高校の恩師である、
星稜高校野球部現名誉監督 山下智茂氏の言葉です。

美しい花を咲かせるためには、よい土壌が不可欠です。

立派な社員を育てるためには、よい会社の土壌が必要です。

社員にはみんな、全員、それぞれが美しい花を咲かせてほしい。

自分らしく、あなたしか咲かすことのできない、人間性溢れる満開の花を。

みんなから「よくやった！」と誉められる、素敵な花を。

私はその土壌になりたい。その土壌を作り続けていきたい。

そして、花を咲かせた人々が、今度は誰かのために、

その人を咲かせるための、土になってほしい。

社長 竹原正和





『先進技術とヒューマンエラー』

交通事故のそのほとんどが人間のミス（ヒューマンエラー）で起こっているのだと言われ続けていますが、その中で、今盛んにこの事故を少しでも少なくしようと車両の自動化が進んで来ています。

TVのCMでも盛んに放映されていますが、追突の可能性が高くなると警報ブザーやブレーキが作動して追突事故を防止する装置等、車両の安全技術の進歩によって交通事故を減少させていく事が期待されて来ています。

当社に於いても、最近購入車両には追突を防止するために車間距離が安全な距離以下になると、警報やブレーキが作動するシステム、衝突被害軽減ブレーキ、ハンドル操作のふらつき具合を検知するとドライバーにブザーで知らせたり、併せて加速や一定速度で走行出来る装置、又後退事故を防ぐためのバックアイカメラ等々、高度な運転支援システム付の車両を購入し、少しでも事故が少なくなるよう、安全に対しては会社として費用は惜しまず万全の体制を傾注しております。

その中で、個人的に考えるには、ここに大きな落とし穴があるのではないかと思ったりもします。車両安全技術の向上に併なって車両に安全装置がついているから「放っておいても事故は減少していくのでは」と思ってしまいがちです。しかしドライバーが車は危険を検知して勝手に止まると思って、「車間距離を取らない」、「スピードを出す」、「携帯電話を盛んに使って走る」等、安全であるはずの技術が逆に危険な行為を誘発し危険を一層増してしまう可能性だって考えられます。

事故は一瞬のうちに起こってしまいます。

当社に於いても、小さな事故は発生します。前年度と比較してみると注意さえすれば防げる事故がほとんどで、口酸っぱく言っているのに注意を怠ってしまう。いつも出来ているのに何かのきっかけでミスをしたことを聞いて行くと、誠実に一生懸命業務を遂行している中での事故であり、すべてがヒューマンエラーであります。

やはり小さな事故でも発生させると、その事故の重大性をしっかりとドライバーに認識してもらおうため次回からの回避を促すためにも、意識付を粘り強く、口酸っぱく教育、指導して行くしかないものと感じます。

この様に、これからの自動車は技術の進歩によって確実に安全に向かって進んで行くと思いますが、扱い方を誤ると安全技術での事故減少効果はなくなって行く懸念があるのではないかと思ったりします。

これからも事故が発生した時、事故報告書のヒヤリングではなぜ起きたのか、どうしたらこの事故は防げたのかを共に考えて、さらに突っ込んだフォローをして行き、次回から同じ様な事故の回避に向けて交通労働災害ゼロに挑戦して行きたいと思っております。

斉藤 洋一



私の家には2匹の猫がいます。池上エチゴくん(♂)と池上マルちゃん(♀)です。エチゴは私と出会って17年になります。人間でいうとかなりのおじいちゃん。私がトラックに乗務していた時に名前の通り新潟県で出会って家族になりました。最近ではやんちゃな行動もなくなり、ちょっと痩せてきました。鳴声も小さくなりましたしゴハンも少なくなりました。家に帰ると玄関で私を出迎えてくれるようになって17年経ちました。そこにいるのが当たり前でエチの存在をうっとおしく思う時もあります。夏の暑い日なんて足元にスリスリススリスされると毛が抜けて大変なんです。「暑いんだから離れろよー」なんて邪険に扱ったり。冬になると「エチ〜こっちおいで〜」なんて言って暖をとったりするのです。なんて自分勝手なんでしょう。それなのにエチは毎日玄関で出迎えてくれています。最近エチの姿を眺めていると、「永遠にはいないんだよな」としみじみ思うのです。私と出会ったことが彼にとって幸せだったのだろうか?などと思ってしまうのは秋の気配を感じるからでしょうか?

当たり前のことに感謝すること、毎日のことにちゃんと関心を持って接すること。痩せてきたエチゴをみて気づいたことです。

私生活も仕事も無関心が一番いけません。

事故惹起者の事故内容よりも無事故者の無関心の方が怖いと思うのです。関心を持つこと関心を持ってもらうことが人を大きく、会社を強く成長させると考えます。

マルちゃんはまだ出会って4年の女の子。エチとよく遊んで、叱られあっちこっち走りまわっています。

池上則和



日増しに秋も深まってまいりましたが、皆様お元気でしょうか？ 日頃よりご愛顧頂き誠にありがとうございます。

“膝に違和感がある”という、一流アスリートが戦線離脱する時によく耳にする言葉ですが、私も一昔前に“膝に違和感”を覚え戦線離脱しました。まあ趣味でやっていたソフトボールなのですが・・・(笑) その頃、毎週日曜日に仲間とチームを作り、ソフトボールをしていたのですが、いつからか膝から下がとても重く感じ、自分の足でないような感覚がして、思い切り走ることが出来なくなり、次第に離れていきました。その後、その違和感は意識ではなく、徐々に痛みに変わっていき、ここ2、3年は引越業務の階段作業の時などは階段の上り下りが辛くなるようになり、昨年冬頃には自宅の階段も真っ直ぐ下りることが困難になって、体を横向きにしなければ下りられない状況になってしまいました。

引越繁忙期も迫る中、この膝の状態では非常に不味いなと思っていたところ、新聞で[いつまでも元気で歩きたいあなたへ]というサプリメントの広告を見て、私はこれだと思い即購入することにしました。それを1日8錠毎日飲み続け1週間程で、何か膝が楽になったなあと感じ、そのまま1か月続けた頃に、引越業務の階段作業がありましたが、全く痛みがなく昔のように上り下りができました。私の体は単純なんやなあと思いながら、半年以上続けて飲んでいますが、今では階段はもちろん、普通に走ることも出来るようになっています。

サプリメントは医薬品のような治療効果はありませんが、普段の食生活では不足しがちな栄養素を取ることで、体の栄養バランスを整え、人間が本来持っている自然治癒力や免疫力を高めて、病気にかかりにくい体を作る目的で摂取するものだと思いますが、私にはその効果観面で本当にそのサプリメントと出会えて良かったと思っています。ちなみに最近、[いつまでも若くられる]という広告に即反応し、早速そのサプリを飲みだしました(笑)



大橋 哲夫

いつも大変お世話になりありがとうございます。

今年の夏は駆け足で去り、一雨で秋の気候が訪れた感じがします。

朝起きた時の布団の中が心地よく、間もなく起きるのが辛くなる季節がやってきます。

タンクローリーの稼働は冬が最盛期となりますので、稼働時に万全の体調をキープしてまいります。

前回に引き続き、我が家の話題ですが、娘が自動車教習所に通い始めました。

まだまだ子供なのに車に乗る練習をするなんて、自転車でも心配なのに・・・。

私が娘を乗せて、運転する時は、手本になれるように大袈裟に周囲確認をしています。

その時気が付いたのが、いつもの運転よりもワンテンポ以上遅いのです。

自分では普段からよく確認をして、運転をしているつもりでしたが、車を動かした状態での確認等の不十分な安全確認を常態化している事に気がきました。

自分で思っている交通の流れというのは、自分の勝手に所々にちりばめられているということでした。



辻川 伸吾

最近、テレビなどで自動車の自動運転というものをよく耳にします。運転手がハンドルを握らなくても、コンピューターが自動で運転してくれるというものです。各自動車メーカーは実用化に向けて開発を進めています。

では、自動運転が当たり前になると社会はどう変わっていくのでしょうか？まず、人間が運転するよりも自動運転の方が交通事故そのものが減ります。事故の原因の8割は人為ミスによるもので起こっているからです。自動運転が普及したからと言って完全に事故を無くすことはできないと思いますが、交通事故が減るのは間違いないです。

次に自動運転が普及するとドライバーに責任を求めないということ、つまりは運転免許がいらないという事です。自動運転なのに、運転手が運転を監視しなければならないレベルの自動運転なら意味がありません。つまり人間がミスを起こす確率を下回らなければなりません。

もう一つ、自動運転のシステムに対処できない例外処理もあると思います。そういった場合の対処方法も考えないといけません。

その他、いろいろな問題をクリアーして自動運転で免許がいらなくなれば、大きな変化となります。自動運転車は公共交通機関の一つとしても考えられます。高齢者の事故が増えています、それも減少します。自動運転なので、家の近くに駐車場が無くても自動運転で駐車場から自動車を移動して家まで持ってくることも可能になるのではないのでしょうか。

そうなる集中駐車場などを作って土地の有効活用もできます。その他にも便利な面がたくさんあると思います。自動運転の技術も日々進化して各メーカーも実用化にむけ近づいてきています。自動運転が当たり前になる日もそう遠い未来の話ではなくなりそうです。



谷口 学

秋風が肌に心地よい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

先日、すずめのヒナが巣から落ちたのかは分かりませんが、まだ飛ぶ事も出来ない様子だったのと、カラスに襲われるかもしれないと思い、素手で捕まえ保護しました。しばらく様子を見てみるとヒナの所に親鳥が餌をくわえてきました、どんな状況下であっても子を守るんだという所に感心させられました。今頃は親子で元気に飛び回っている事だと思います。

話はすずめからツバメに変わりますが、今年もあまりツバメを見かけなかった気がしたので調べてみたら、やはり減少しているそうです。

ツバメが減少している背景には、農業の衰退によりエサ場となる水田や耕作地の減少、巣作りに適した日本家屋の減少などや、西洋風家屋で軒のないものや、壁面が加工されていて作りにくい事、巣を作られると困るから壊す事も要因だそうです。いずれも私たち人間の生活と深いかわりがある事がわかりました。

ちなみに、ツバメのヒナがいたり卵がある巣を壊せば「ヒナや卵を捕獲・傷又は採取・損傷」したことになり鳥獣保護法8条違反となる可能性があるそうです。



越 邦治

いつもお世話になっております。暑い夏が終わり、一気に秋がやって来ましたね。朝晩はぐっと涼しくなり、体調管理が大変ですが、十分気をつけて下さい。

さて、9月～10月は行楽シーズンで皆様も連休などにお出かけされるのではないかと思います。私も何年かぶり（バレーボールの応援などではありますが・・・）10月に京都に出かける予定をしております。ただ内容は義父の納骨に行くという名目で、JRで行き、夕食は懐石料理、次の日は観光も兼ねて完全に気分は旅行ですね。ここ何十年と観光らしいものをしていなかったのので10月の京都を満喫してきたいと思っております。残念ながら、紅葉にはまだ早いですか・・・



吉川 佳代

いつもお世話になりありがとうございます。
今年の夏も終わり、過ごしやすい季節となりました。

ところで、右の写真は何に見えるでしょうか？
食べ物ですがドーナツでは無いです。

白黒だとはっきり分かりにくいかもしれませんが、
実はきゅうりなんですよ。

毎年、ご近所から夏野菜をどっさりと頂くのですが
こんなにきれいに輪になったきゅうりは初めてです。
かわいいなあ～と思いましたが横から見ると蛇みたい^^;



檜鼻 真智子

次回お楽しみに・・・